

# 請願・陳情

●「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書」の採択を求める請願：採択（意見書を可決）

容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進する法律の制定を求める意見書を国会及び政府に提出するよう求めるもの。

〔紹介議員〕

倉持議員ほか1人

●井野交番の「廃止計画」検討を中止し存続を求める請願書：採択（市長に送付）

井野交番周辺地域は、新たな大型店出店による交通量増大等、環境の変化も激しいため、取手井野交番の「廃止計画」の検討を中止し、存続を求めるもの。

〔紹介議員〕

吉田議員ほか3人

〔討論〕

染谷議員：検討段階であり、請願が採択されれば井野交番廃止を中止させることに有効と思われる。市民の安心安全を守るためにも井野交番の存続は必要不可欠。賛成。

加増議員：人口密集地域でもあり、子ども、高齢者も多く、これまで以上に交番

の役割が求められる。私も地元の声を大事に、存続のために頑張りたい。賛成。

小嶋議員：地域の安心安全が大事なのか、それともコストが大事なのかという問題ではない。お金を使っても、地域住民の安心安全は守ってほしい。賛成。

●JR常磐線新田踏み切り存続に関する請願：採択

歩行者、自転車利用者の利便性を確保するため、JR常磐線新田踏切の存続を求めるもの。

〔紹介議員〕

朝比奈議員ほか2人

●取手市藤代1965番地1地先新田ふみきりの廃止に関する陳情：採択

新田踏切廃止を前提とする市道の廃止、変更は、都市計画道路開通後も5年間は延期し、住民の生活環境の変化、利用状況を見極めることを求めるもの。

〔意見書及び決議を可決〕

〔討論〕

小嶋議員：茨城県と藤代町とJRが協議して踏切廃止を決めたことは無視できないが、5年ぐらい様子を見てから廃止しても、大きな混乱やJRの負担もないのではないか。陳情に賛成。

結城議員：数十年前の取り決めは時代にそぐわないところがある。オーバードリッジができて、どんな形にな

るかを見極めてから、存続か廃止かをもう一度話し合うべき。陳情に賛成。

遠山議員：さらに高齢化が進むことや、障害のある人、自転車等の通行を考えると、今ある踏切を利用したいのは当然。計画変更も考え、5年間の通行状況を検証するよう声を届ける。賛成。

川又議員：住民を無視するような方向には反対。橋ができて、そこに住んでいる人々には不便になってしまふ。踏切存続に賛成。



新田踏切から藤代駅を望む

●第5次取手市総合計画と取手駅西口前開発に関する請願：不採択

基本構想に違反する「ウェルネス・タウン取手の創造」計画は中止すること。計画を続行する場合は議会で「基本構想」の修正議決を行うことを求めるもの。

〔紹介議員〕

朝比奈議員ほか2人

〔討論〕

加増議員：市の最上位計画である基本構想に即してい

ないウェルネス・タウン取手の創造は明らかに法律違反で、中止すべきとの願意は民主主義国家において当たり前のも。賛成。

●「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書提出に関する陳情：採択（意見書を可決）

国会及び政府において「緊急事態基本法」を早急に制定するよう要望する意見書の提出を求めるもの。

〔討論〕

小泉議員：未曾有の危機に直面しているのは事実だが、それを口実に緊急事態基本法の制定を急がせるのは論外。有事法制の拡大につながり、平和を脅かす内容になりかねない。反対。

林議員：震災を利用して、有事体制の一層の強化を狙うのは大変問題。有事体制強化ではなく、復旧・復興支援に全力で取り組むことこそ国民の願い。反対。

齋藤（久）議員：緊急事態発生に備えた国民生活や危機管理は、真剣に議論しなければならぬ。国会には立法府の責任、政府には責任ある対処を求め、賛成。

小嶋議員：東日本大震災においても、司令塔が存在し、東電や民間業者に強い処置ができていれば危機の拡大を防止できたかもしれない。緊急事態基本法の早

期制定を求める。賛成。

結城議員：早期に制定しなければいけない。こういうことを早期にできないことで、日本が本場に弱体化しているのと周りの諸国は見てみると考えられる。賛成。

●関東地方整備局及び利根川下流河川事務所の存続を求める陳情書：採択（意見書を可決）

国直轄事業の地方移管は行わないこと。公共事業の予算配分を防災・生活関連・維持管理に重点配分するとともに、関東地方整備局の廃止を行わず、利根川下流河川事務所を存続させることを国に要請するよう求めるもの。

〔討論〕

貫井議員：詩人高村光太郎が『空間の美』と讃えた利根川は全国に誇る景観と自然の恵みを与えてくれた。大地震発生も危惧されてお

り、利根川が氾濫すれば壊滅的な被害が発生する。存続は11万市民の願い。賛成。

遠山議員：大震災後、国交省河川事務所の皆さんが総出で巡回を行っているのを目の当たりにしてきた。この陳情は本当に通じていかなければならない。賛成。

●こども発達センターの移転を求める陳情書：採択（市長に送付）

現在の旧高須小学校校舎は、子どもたちが安全に療育を受けられる環境ではないため、こども発達センターの一日も早い移転を強く求めるもの。

〔討論〕

吉田議員：東京電力跡地を発達センターにするならば、より良い、素晴らしい環境にして、子どもたちに与えることが私たちの仕事。子どもたちの平等な教育環境づくりの一つとして賛成。

阿部議員：施設の関係で十分な療育指導が受けられないのは問題。義務教育の中で専門指導を受けることが重要。未来ある子どもたちの十分な成長のため、賛成。

遠山議員：今議会の中で、移転先が具体的に報告された。職員や保護者の皆さんと十分な協議をしてほしい。陳情内容に十分配慮した形で考えてほしい。賛成。

●政務調査費の交付中止に関する陳情：不採択

政務調査費収支報告書を精査すると、不適切な支出と疑えるものが散見される。議員の既得権ともいえるべき政務調査費の支出を中止し、図書の実費等、子どもたちのために議員が手本を示すことを希望する。平成24年4月から政務調査費を廃止するよう求めるもの。

政務調査費の支出を中止し、